

第5次 東区地域福祉活動計画

令和6年度～令和10年度

－ 概要版 －

基本理念

「誰もが住みよいまちづくり」

計画の基本理念は、第1次計画から掲げている「誰もが住みよいまちづくり」を継承します。老若男女、障がいの有無にかかわらず、東区に住む人、東区で活動する人が人権と人としての尊厳を尊重し、つながり・支えあう、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを目指します。

目指す地域の姿

地域住民や地域に関わる様々な団体・機関などが互いに連携・協働し、地域の誰もが役割を持ってつながり・支えあいながら、自分らしく暮らせる地域社会

2つの目標

目標1 『社会参加できる地域づくり・人と人とのつながりがあることで支えあえる地域づくり』

地域の誰もが役割を持って、生きがいを感じながら社会参加できるということ、また、コロナ禍を経て途切れてしまった人と人とのつながりを再度見直し、住民どうしのつながりによって支えあえる地域をつくっていくこと

目標2 『困りごとを抱えた人たちに気づき、寄り添いながら解決していくしくみづくり』

身近な地域で、困りごとを抱えた人たちへの気づきや相談を受け止めるとともに、地域住民と相談機関などの専門職が連携・協働して、困りごとを抱えた人々に寄り添いながら解決を図るための活動を進めることで、その人らしい生き方を応援していくこと

計画の体系・計画骨子

目標

【目標1】

社会参加できる地域づくり・人と人とのつながりがあることで、支えあえる地域づくり

【目標2】

困りごとを抱えた人たちに気づき、寄り添いながら解決していくしくみづくり



取り組み項目・取り組みの視点

1 地域住民どうしのつながり・交流

- ① 今まで地域に関心や関連のない人たちも参加できるしかけ
- ② 世代間の価値観の違いを超えて交流する方策や、地域行事の継続と新たな方法の検討
- ③ 外国籍の人たちとの交流

2 役割や生きがいを持ち、社会参加できる機会

- ① 高齢男性の参加や、働く世代、企業を巻き込んでの参加の機会
- ② 特技や趣味を生かした参加や特技がなくても役割を担える場
- ③ 自分らしい生き方を応援できる地域

3 自ら参加することが困難な人への対応

- ① 自分から進んで参加することができない孤立しがちな人などに対して、参加のハードルを下げする方法を検討
- ② 交流や他者との関わりを拒んでいる人に対するつながりづくり
- ③ 社会参加のきっかけとしての就労機会

4 困っている人に寄り添い、解決策を考える

- ① 困っている人に気づき、困っている人が「困っている」と言える環境づくり
- ② 困りごとを地域で集約する場、機会
- ③ 支援のきっかけづくり

5 お互いを知り、理解する

- ① 地域で孤立しがちな人、認知症や障がいのある人への理解を深めるための場をつくる
- ② 様々な地域課題や多様な生き方について学び、ともに生きる力を育む
- ③ 誰もが権利の主体であることを一緒に考えていく

6 地域住民と専門職との連携

- ① 地域住民と専門職との連携と協働
- ② 専門機関どうしの連携

目標を達成するため、計画期間中に優先的に取り組む事業を検討し、次に掲げる「新たに取り組む3つのプロジェクト」と「拡充して取り組む3つの活動」を進めていきます。

新たに取り組む3つのプロジェクト

A 誰でも行くことができる場所をつくろう
⇒ **地域食堂プロジェクト**

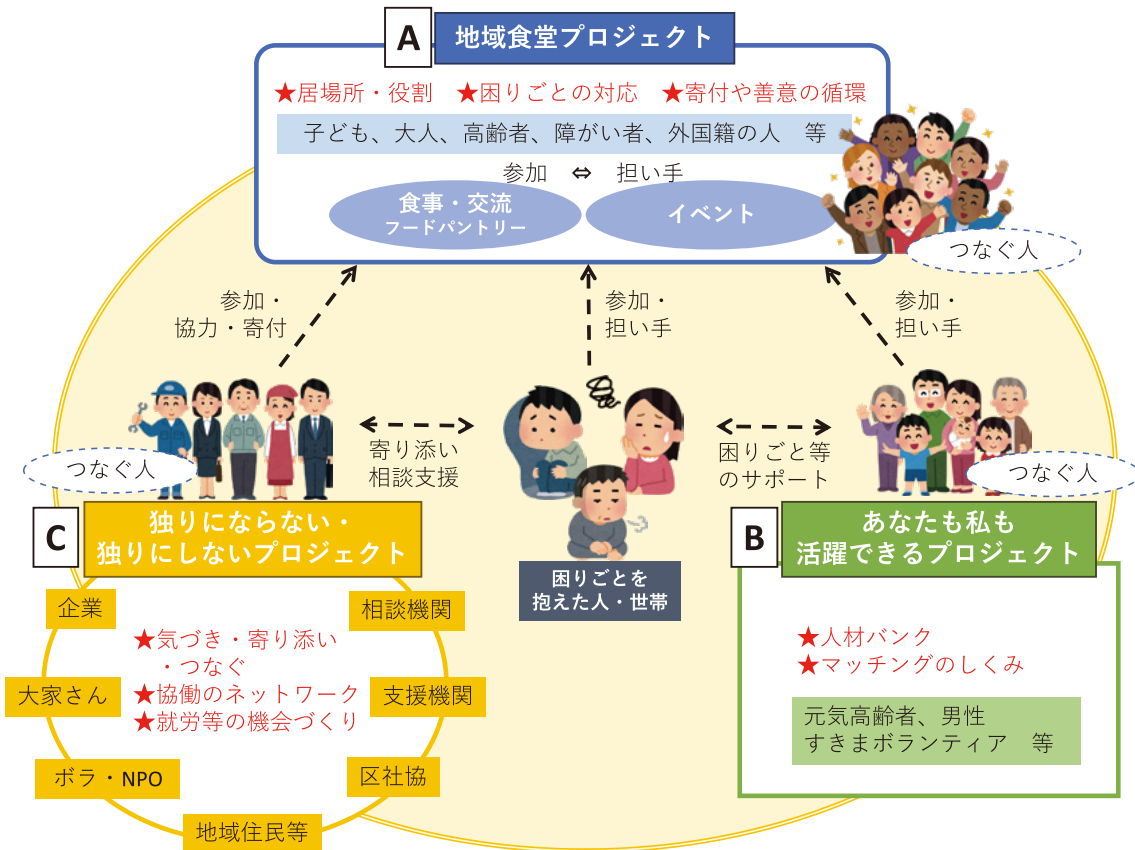
B 誰でも活躍できるしゅみを考えよう
⇒ **あなたも私も活躍できるプロジェクト**

C 困りごとの集約と解決のしゅみを考えよう
⇒ **独りにならない・独りにしないプロジェクト**

3つのプロジェクトの関係性

これらの3つのプロジェクトは、それぞれが別々に活動するわけではなく、それぞれが一つの役割を果たすことで別のプロジェクトの解決につながっていくなど、相互に関連を持っています。

それぞれのプロジェクトの成果や、出された課題などをお互いに共有しながら進めていくことで、相乗効果も期待できます。



拡充して取り組む3つの活動

1 地域での住民どうしの交流

実施内容

- ①交流の機会を通して、お互いを知り、住民どうしのつながりをつくる
- ②子どもがいきいきと過ごすことができる取り組み

2 地域での見守り・支えあい、ネットワークの構築

実施内容

- ①ふれあいネットワーク活動・地域支えあい活動
- ②防災の取り組み

3 「マイノリティと言われる人たち」への理解・協働の取り組み

実施内容

- ①地域での福祉学習の機会

計画の進行管理

みんつく（みんなでつくろうわがまちひがし）による計画の推進と評価

計画推進の母体は、第1次計画策定時から第4次計画の推進まで都度組織されてきた「みんなでつくろうわがまちひがし」（通称「みんつく」）を再組織化し、推進していきます。

構成メンバーとしては、第5次計画策定作業委員会の委員を始め、一緒に取り組んでいく協力者を募り、各プロジェクト等に関わっていただくなかで「みんつく」にも参加していただくよう働きかけます。

「みんつく」の事務局は東区社会福祉協議会が担います。

また、年に2回程度、みんつくメンバー、学識経験者、事務局による進行管理に関する会議を開催しますが、第5次計画の中間年度にあたる令和8年度には中間評価を実施します。中間評価以降の令和9、10年においては、中間評価に基づいた活動を実施していきます。

みんつく（みんなでつくろうわがまちひがし）メンバー大募集!!

東区内に在住、在勤、在学している方で、わたしたちと一緒に活動計画事業に取り組んでみたいという方、ぜひ、社会福祉協議会までご連絡・お問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしています!!

地域福祉活動計画とは

地域住民や地域に関わる様々な団体・機関などが、互いに連携・協働しながら主体的に福祉のまちづくりを進めていくための行動計画です。

東区の課題や住民の方が抱える困りごとを共有し、その解決に向けて多くの区民の皆さまの参加を得ながら社会福祉協議会を始め関係機関とともに取り組んでいきます。



社会福祉法人名古屋市東区社会福祉協議会

〒461-0001 名古屋市東区泉二丁目28番5号

電話 052-932-8204

FAX 052-932-9311

WEB <https://www.higashi-fukushi.com/>

東区社協の最新情報はこちらからチェック!

区内の地域活動やイベントなど楽しい情報やボランティア募集情報をお届けします!



ホームページ



LINE



X (旧 Twitter)